

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社
資産運用立国の実現に向けた当社の取組みについて

1. 資産運用ビジネスの経営戦略

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社（以下「当社」）は、金融資本市場の担い手としての社会的責任を果たすため、「受託者責任（フィデューシャリー・デューティー）」が運用会社の根幹をなす理念であることを強く認識し、健全な投資活動を通じて運用資産の価値向上を図り、豊かで持続可能な社会の実現に貢献することを目指しております。国際的に事業を展開するJ.P.モルガン・アセット・マネジメントの一員として、グローバルネットワークを最大限に活用し、本邦におけるマーケット特性や需要に柔軟に対応して参ります。

2020年に投資信託協会と日本投資顧問業協会との共催により開催された資産運用業フォーラムにおいて採択された「資産運用業宣言2020」に賛同して、以下の取組みを公表しております。

「資産運用業宣言2020」と当社の取組みについては[こちら](#)をご覧ください。

資産運用会社の使命は、皆さまの安定的な資産形成に向けて最善を尽くすと共に、そのための投資活動を通じて社会課題の解決を図り、皆さまの豊かな暮らしと持続可能な社会の実現に貢献することです。

投資家の皆さまからお預かりした大切な資金をプロとしての知見を活かして運用し、さらに投資を通じて投資先企業の持続的な成長を促し、その果実としてのリターンが投資家の皆さまのもとに帰っていく。こうした経済の好循環を生み出すことがアクティブ・マネジャーとして提供できる価値であり、運用会社としての社会的な使命であると考えています。

2. 資産運用立国に向けた当社の取組み

(1) 「資産運用力の向上やガバナンス改善・体制強化」について

当社は、グローバルに展開する総合金融グループ「JPモルガン・チェース・アンド・カンパニー」傘下の資産運用部門であるJ.P.モルガン・アセット・マネジメントの日本拠点です。J.P.モルガン・アセット・マネジメントは、銀行部門や証券部門とは経営上、業務上また人事上独立した組織として運営しております。他のビジネスラインから独立した運営を行う組織体制のもとで、フィデューシャリー・デューティを明確に認識し、専門性を有する資産運用会社として、投資家の長期分散投資に資する商品ラインナップの提供に努めています。

専門性の高い組織運営を実現するため、継続的な人材育成に加え、外部からの登用も積極的に実施しています。社長も含め経営幹部に関しても、相応しいスキルと経験を持った人材を登用するために、社内やグループ内からの異動だけではなく、外部候補者も含め、常に複数の候補者を立てたうえで選定しています。

(2) 「運用対象の多様化」について

J.P.モルガン・アセット・マネジメントでは、1,300名以上の運用プロフェッショナルによって、600以上の運用戦略を世界中でご提供しています*。日本においても、投資家のニーズ、リスク許容度を踏まえた上で、J.P.モルガン・アセット・マネジメントのグローバル・ネットワークを活用して多様な運用商品を提供してまいります。

*2022年12月31日現在

・ オルタナティブ資産

オルタナティブ資産へのニーズの高まりを受け、プライベートエクイティ、プライベートデット、インフラや不動産等の実物資産の提案にも注力しており、年金基金を始めとした多くの機関投資家のみなさまにご提供しています。今後は個人投資家向けの提供も視野に入れ、商品開発に取り組んでおります。

・ サステナブル投資

J.P.モルガン・アセット・マネジメントのサステナブル・インベスティングのアプローチは、長年にわたるアクティブ運用とスチュワードシップの実績、そしてリサーチにESG要素を組み込む約300名のアナリスト**の専門知識が土台となっています。お客様の投資の目標と価値観に合わせて設計した、さまざまな専用のサステナブル・インベスティングのソリューションを提供しています。

サステナブル投資の詳細については[こちら](#)をご覧ください。

** 2024年1月現在

・ アクティブETF

J.P.モルガン・アセット・マネジメントは、2023年の東京証券取引所によるアクティブ運用のETF解禁に先立ち、米国をはじめ、数多くの海外の証券取引所にアクティブETFを上場させております。現在、日本のネット証券経由で日本の投資家に米国の証券取引所に上場するもののうち6つの商品を提供しております。アクティブETFの市場拡大に貢献するため、ネット証券各社のウェブサイト向けにJ.P.モルガンのアクティブETFを紹介するコンテンツを提供、また、2023年5月に当社ウェブサイト内にアクティブETF特設ページを新たに開設し、アクティブETFの特徴やETFラインアップを紹介しています。世界のアクティブETF市場は大きく拡大しています。今後日本でも、低コストで透明性が高く、付加価値の高いアクティブ運用商品を提供できるよう尽力してまいります。

(3) 「スチュワードシップ活動の実質化」について

J.P.モルガン・アセット・マネジメントはサステナブル・インベスティング部門内にインベストメント・スチュワードシップチームを設け、各主要運用拠点においてスチュワードシップ活動を統括し推進する体制を整えています。日本拠点である当社においても、インベストメント・スチュワードシップ部を設け、専任担当者を配置しています。セクターアナリストやポートフォリオ・マネジャーなどの運用担当者とスチュワードシップ担当者が協働してスチュワードシップ活動を行う体制を築いています。エンゲージメントに際しては、それぞれのセクターにおいて重要度の高い課題やテーマを特定し、業界横断的な重要事項と有機的に組み合わせて、実効性のあるスチュワードシップを発揮できるよう、対話を行っています。

インベストメント・スチュワードシップの取組みの詳細については[こちら](#)をご覧ください。

(4) 「対外情報発信・コミュニケーション」について

投資家の長期的な資産形成に資するポートフォリオ構築の一助となるよう、当社ウェブサイトにて、投資の基本やマーケットの見方をやさしく紐解く記事や動画を多数掲

載し、ストラテジストやポートフォリオ・マネジャーが各種メディアにてマーケットや資産クラスについての最新の見方を情報発信しています。

- ・ Market Insightsプログラム

金融商品の販売を担う金融機関の販売担当者および資産運用を検討するすべての投資家の金融リテラシー向上を目的として、世界の経済環境や市場動向を包括的に解説する投資啓蒙プログラムを2013年より日本で展開しています。金融機関の資産運用に携わる皆さまに向けて、四半期ごとの定期セミナー、レポート配信などを実施しているほか、様々なデータやチャートで構成されるGuide to the Marketsなどのコンテンツは当社ホームページ、無料のアプリを通じてどなたでもご覧いただけます。

Market Insightsプログラムの詳細は[こちら](#)をご覧ください。

- ・ 超長期市場予測（LTCMA、Long-Term Capital Market Assumptions）

10～15年スパンの長期にわたる金融市場の予測レポート「LTCMA」を毎年策定しています。これまでに25回実施し、中長期視点の資産運用を普及させるため、ポートフォリオ提案に携わる全ての方々に活用いただけることを目指しています。

LTCMAの詳細は[こちら](#)をご覧ください。

（５）「家計における資産形成の促進」について

販売金融機関（証券会社や銀行）と密に連携し、従来の対面型からデジタルを活用した情報提供など投資家のニーズに応えるべく販売支援を行っていきます。

前述の「Market Insights」プログラムを通じて、投資信託の販売、資産運用のアドバイスを担う皆様に、金融市場や様々な資産クラスに対するグローバルな観点をお伝えすることで、販売金融機関にお勤めの方のみならず、個人投資家の金融リテラシーの向上に貢献したいと考えています。

また、販売現場において従来のプロダクトプッシュ型の資産運用アドバイスからポートフォリオ提案型の資産運用アドバイスへの移行が推進されています。この動きを後押しするために、アメリカで導入が始まった自社開発のポートフォリオ分析ツール（digital portfolio insights）を日本の金融機関向けに2022年より無料で提供を開始し、ポートフォリオ提案に活用いただくことを目指しています。

商品提供にあたっては、当社のフラッグシップファンドを個人投資家の資産形成の手段の一つとして最適な形で提案しつつけると同時に、今後日本においてもアクティブ

ETF市場の拡大が見込まれており、低コストかつ透明性の高い資産運用商品のひとつとしてネット証券各社へのJ.P.モルガン・アセット・マネジメントの海外ETF商品の提供に取り組んでいます。同時にNISAに対応した商品を厳選してご提供し、資産形成においてアクティブ運用を活用いただくことを目指しています。

J.P.モルガンは、JPモルガン・チェース・アンド・カンパニーおよびその各国子会社または関連会社のマーケティングネームです。

J.P.モルガン・アセット・マネジメントは、JPモルガン・チェース・アンド・カンパニーおよび世界の関連会社の資産運用ビジネスのブランドです。